

ニュース NEWS

HOME > ニュース > 荏原グループと水素焚吸収冷温水機の実証試験に関する覚書を締結

荏原グループと水素焚吸収冷温水機の実証試験に関する覚書

荏原製作所（以下：荏原）およびグループ会社である荏原冷熱システム株式会社（以下：株式会社トクヤマ（本社：山口県周南市、社長：横田 浩、以下：トクヤマ）は、荏原グループとする水素焚吸収冷温水機（以下：RHDH型）を用いた新たな水素利活用モデルの検証の施について合意し覚書を締結しました。

1. 背景

世界的な脱炭素化の流れの中、燃焼時にCO₂を排出しない水素を温暖化対策に有効なエネルギーとして活用が進められています。本実証試験では、水素を活用したエネルギーの普及と環境負荷の低減分野を活かした協業を進めてまいります。

2. 概要

トクヤマは、基礎素材分野から最先端の電子・健康・環境分野に関するさまざまな製品を提供しています。本実証試験の実施にあたり、トクヤマは苛性ソーダの製造工程で副次的に発生する高純度な水素を安定的に供給する役割を担います。荏原グループは、幅広い分野で流体、熱を供給する産業機械メーカーです。本実証試験では水素を直接「つかう」利活用モデルの構築を推進し、水素をエネルギー源とするRHDH型をトクヤマ文化体育館に設置します。トクヤマが供給する水素が実際に冷暖房空調を提供することで、実負荷における長期連続運転の信頼性および実用性を検証します。

試験開始予定日	2024年8月1日
場所	山口県周南市江口1丁目1-25 トクヤマ文化体育館

■RHDH型について

RHDH型は水素利用によるCO₂排出量削減だけでなく、冷却水や冷温水の変流量制御、省始動時間短縮制御といった各種新技術を搭載※1しているため、消費エネルギーの削減を達成し、オゾン層破壊係数ゼロで、可燃性や毒性もない水を使用しているため、カーボンニュートラルを実現します。

3. 今後の展開

荏原の水素焚冷温水機は、水素エネルギーを直接「つかう」製品として今後ラインナップを拡大し、水素社会の実現に貢献してまいります。一方で、トクヤマは今回の実証試験により、化学工場に向けた新たな水素の需要開拓を行い、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。荏原は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを加速し、長期ビジョンとして持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■ご参考

- ・ [荏原の水素ビジネスのウェブサイト](#)
- ・ [エバラ時報 荏原の水素技術の紹介](#)

※1：荏原と荏原冷熱システムが販売する最新吸収冷温水機シリーズの標準搭載技術。

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社荏原製作所 [荏原製作所](#) [お問い合わせ](#)

ニューストップ

会社情報

社長メッセージ

トクヤマのビジョン

会社概要

役員紹介

コーポレート・

ガバナンス

組織図

事業紹介

拠点・グループ会社

沿革

購買基本情報

アクセス

よくあるご質問

製品情報

化学品

エレクトロニクス

建設資材

ライフサイエンス

環境

SDSダウンロード

株主・投資家情報

経営方針

IRイベント

IRライブラリ

個人投資家の皆さまへ

業績・財務情報

株式・社債情報

研究開発

本部長メッセージ

研究開発体制

研究テーマ紹介

受賞歴一覧

学会発表

論文紹介

製品開発物語

CSR

サステ

マテリ

サステ

ガバ

レスポ

ケア

環境

環境

廃棄物

地球

取り

保安

労働

従業

トク

社会

CSR

